Japanese Utility Model Application, Laid-Open Publication No. 3-17272 A translation of claim (1/1)

Claim

A switching unit for a fuel tank connecting system comprising: a first tank, a second tank, a fuel hose for connecting between the first tank and the second tank, and a fuel supply source capable of switching the first tank over the second tank by a selector valve provided at the fuel hose,

characterized in that the selector valve is automatically operated based on a prescribed quantity of the remaining fuel, and the selector valve is switched by switching means provided at a driver's seat.

BEST AVAILABLE COPY

® 日本国特許庁(JP) @実用新案出顯公開

◎ 公開実用新案公報(□) 平3-17272

@Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成3年(1991)2月20日

F 02 M B 60 K F 02 M

311 H 301 B

7312-3G

B 60 K 15/02

7312-3G 8108-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

燃料タンク連結システムの切替装置 **図考案の名称**

> 頤 平1-78304 到実

頤 平1(1989)7月4日 ❷出

木

愛知県岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車エンジニ

アリング株式会社内

願 人 る。

三菱自動車エンジニア

東京都大田区下丸子4丁目21番1号

リング株式会社

三菱自動車工業株式会

東京都港区芝 5 丁目33番 8 号

100代 理 人 弁理士 長門 侃二

明 細 書

1. 考案の名称

燃料タンク連結システムの切替装置

2. 実用新案登録請求の範囲

第1のタンク及び第2のタンクを備え、これら 第1及び第2のタンクとの間を燃料ホースで連結 し、前記燃料ホースに設けた切替弁により燃料供 給源を第1のタンクまたは第2のタンクに切替自 在とした燃料タンク連結システムの切替装置にお いて、前記切替弁を所定燃料残量に基づいて自動 的に作動可能とすると共に、運転席に設けた切替 手段の操作により切替可能としたことを特徴とす る燃料タンク連結システムの切替装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は、燃料タンク連結システムの切替装置に関する。

(従来の技術)

大型車両においては、メインタンクの他に、寒 冷地用の燃料や冷暖房装置用の燃料を入れるサブ

タンクを備えたものがあり、例えば、観光バスにおいては、メインエンジン用のメインタンク(容量400ℓ)の他に、冷暖房装置のサブエンジン用のサブタンク(容量95ℓ)を備えている。

(考案が解決しようとする課題)

ところで、上記サブタンクを備えた車両においては、仕様によって、非常時にこのサブタンクを メインエンジンの燃料タンクとして使用したり、 寒冷時にサブタンク内の寒冷地用燃料をメインエンジンの燃料に使用する場合があり、かかる場合には、従来、両タンク間を連結する燃料ホースに手動コックを設け、この手動コックにより燃料供給源をメインタンクとサブタンクとの間で切替えて使用していた。

このため、かかる切替作業に際しては、一旦、 車両から降り、両タンクを収容したタンクルーム のリッドを開かなければ手動コックの切替操作を することができず、切替作業が面倒なうえ、雨天 の際や夜間あるいは高速道路を走行しているとき 等においては危険を伴う等の問題があった。 本考案は、上記の点に鑑みてなされたもので、 車両から降りることなく燃料供給源を切替えることができる燃料タンク連結システムの切替装置を 提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

本考案においては上記目的を達成するために、 第1のタンク及び第2のタンクを備え、これら第 1及び第2のタンクとの間を燃料ホースで連結し、 前記燃料ホースに設けた切替弁により燃料供給源 を第1のタンクまたは第2のタンクに切替自在と した燃料タンク連結システムの切替装置において、 前記切替弁を所定燃料残量に基づいて自動的に作 動可能とすると共に、運転席に設けた切替手段の 操作により切替可能としたものである。

(作用)

燃料供給源の切替えが、自動的に行われる他、 運転席で切替手段を操作することによって切替え ることができるので、切替の都度車両から降りて 切替操作をする必要がない。

(実施例)

以下、本考案の一実施例を第1図乃至第3図に 基づいて詳細に説明する。

燃料タンク連結システムを装備した大型バス1 は、第2図に示すように、床下部の、車体後部に 走行用のメインエンジン2を、車体前部に冷房装 置用のサブエンジン3を備えている。メインエン ジン2に燃料を供給するメインタンク4及びサブ エンジン3に燃料を供給するサブタンク5は、夫 々サブエンジン3に隣接して設置され、メインタ ンク4内にはヒューエルゲージ6が設けられてい る(第1図参照)。また、サブエンジン3の車体 右側には、暖房用のプレヒータHが設けられてい る。ここで、サブタンク5には、第3図に示すよ うにサブエンジン3用のフィードホース5a、リ ターンホース5b及び暖房装置用のフィードホー ス5c、リターンホース5dが夫々接続されてい る。更に、両エンジン2,3と両タンク4.5と の間は、夫々燃料ホース7により相互に連結され、 燃料ホース~には、メインエンジン~に燃料を供 給するフィードバルブ8及びリターンバルブ9が

配設され(第1図,第3図参照)、燃料タンク連結システムを構成している。ここにおいて、前記両バルブ8,9は、モータの回転軸と連結され、モータ駆動される球体形状の弁体を弁箱内に収容した3方弁で、弁箱には燃料ホース7を接続する3箇所の接続部が形成され、弁体には回転軸方向に形成されるポートと、回転軸に直交し、互いに90°離して形成される2箇所のポートが穿設されている。

上記燃料タンク連結システムに設けて、メインエンジン2に燃料を供給する燃料源を、メインタンク4またはサブタンク5に切替える本考案の切替と置は、両バルブ8、9を切替作動させる切替回路10からなり、この切替回路10は、第10回路10は、第一ドバルブ8、リターンバルブ9、燃料残量計11、パワーリレー12、遅延回路13、インジケータランプ14及び運転席の計器パネルに設けられ、アリレー12、遅延回路13、インジケータランプ14及び運転席の計器パネルに設けられ、バルブ8、9をマニュアル作動させる切替スイッチ15を有しており、これらを電気的に配線接続

して構成されている。

ヒューエルゲージ6は、メインタンク4内の燃料が所定残量以下となったときに、スイッチ6aがオンとなり、可変抵抗6bにより所定の電流を遅延回路13側へ流すように構成されている。

また、パワーリレー12は、遅延回路13と共にタイマを構成し、ヒューエルゲージ6から、例えば5秒以上連続して電流が流れたときのみ作動して回路を閉じ、両バルブ8,9を自動的に切替えるもので、これにより切替回路10の誤作動を防止しており、遅延回路13には、公知の遅延回路が使用されている。

切替スイッチ15は、メインエンジン2に燃料を供給する燃料源を、メインタンク4またはサブタンク5にマニュアル操作により切替えるマニュアルスイッチである。

尚、燃料残量計11及びインジケータランプ14 は、運転席の計器パネルに設けられ、夫々既存の ものが使用される。

本考案に係る燃料タンク連結システムの切替装

置は、以上のように構成されており、以下のよう に使用される。

通常、フィードバルブ 8 及びリターンバルブ 9 は非作動状態にあり、第 3 図に実線矢印で示したように、燃料ホース 7 により、メインタンク 4 からメインエンジン 2 に燃料が供給され、残余の燃料は、図示のように、ホース 7 、リターンバルブ 9 を通ってタンク 4 に戻ってくる。また、サブエンジン 3 には、フィードホース 5 a によりサブタンク 5 から燃料が送られ、残余の燃料はリターンホース 5 b によりサブタンク 5 へ戻ってくる。

そして、メインタンク4内の燃料が減少し、所 定残量以下になると、ヒューエルゲージ6のスイ ッチ6aがオンとなる。スイッチ6aがオンにな ると、遅延回路13により所定時間(5秒)の経 過を待って、第1図において、パワーリレー12 がオンとなり、フィードバルブ8及びリターンバ ルブ9が作動し、インジケータランプ14が点灯 すると共に、メインエンジン2に燃料を供給する 燃料供給源がメインタンク4からサブタンク5に

自動的に切替わる。すると、メインエンジン2には、第3図に破線矢印で示したように、サブタンク5から燃料が供給され、メインタンク4に新たに燃料が補給されるまで、暫定的にサブタンク5内の燃料が使用される。

ここで、上記実施例においては、燃料供給源が 自動的に切替わる場合について説明したが、運転 者が燃料残量計11の表示に基づいて切替スイッ チ15を手動操作し、フィードパルブ8及びリタ ーンバルブ9を作動させて燃料供給源をメインタ ンク4からサブタンク5に切替えてもよい。更に、 サブタンク5は、冷房装置を駆動するサブエンジ ン3用の燃料タンクではなく、寒冷地用の燃料を 入れる燃料タンクとして使用し、切替スイッチ15 の手動操作により燃料供給源をメインタンク4か らサブタンク5に切替え、寒冷地用の燃料を使用 するようにしてもよい。

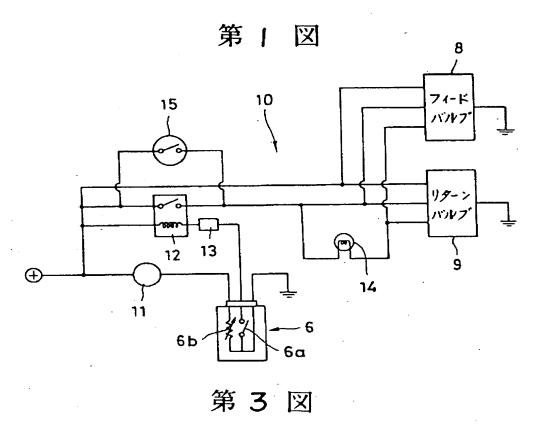
(考案の効果)

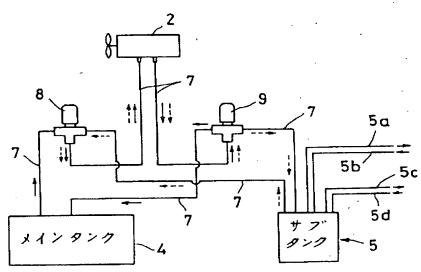
以上の説明で明らかなように本考案の燃料タン ク連結システムの切替装置によれば、切替弁を所 定燃料残量に基づいて自動的に作動可能とすると 共に、運転席に設けた切替手段の操作により切替 可能としたので、燃料供給源の切替操作を忘れて も自動的に切替えが行われ、車両から降りること なく、簡単且つ安全に燃料供給源を切替えること ができ、しかも構造が簡単で既存の車両にも適用 できるという優れた効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は本考案の一実施例を示すもので、第1図は本考案の燃料タンク連結システムの切替装置を示す配線回路図、第2図は第1図の切替装置による燃料の流れを示す配管図、第3図第1図の切替装置を装備した大型バスを示す斜視図である。

1…大型バス、4…メインタンク(第1のタンク)、5…サブタンク(第2のタンク)、6…ヒューエルゲージ、7…燃料ホース、8…フィードバルブ、9…リターンバルブ、10…切替回路、11…燃料残量計、12…パワーリレー、13…遅延回路、15…切替スイッチ。

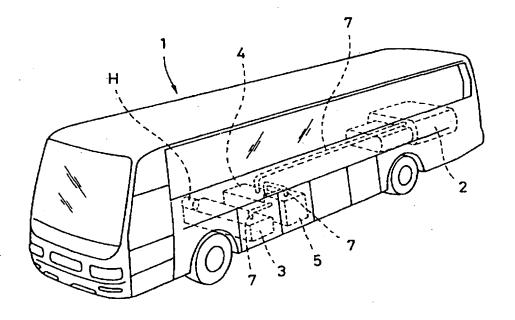




窦開3-17272 .984

長門侃二 代理人 弁理士

第 2 図



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

)	A BLACK BORDERS
/(☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
[/] (☐ FADED TEXT OR DRAWING
[☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
[☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
[☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
[GRAY SCALE DOCUMENTS
[☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
[☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
[OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.